

(別紙)

提出書類の区分	<input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 (変更)					
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	宮崎県宮崎市昭栄町 4 5 番地 1					
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	雲海酒造株式会社 代表取締役 中島 美幸					
主たる業種	飲料・たばこ・飼料製造業					
事業概要	酒類製造					
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第 9 条第 1 号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第 9 条第 2 号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第 9 条第 3 号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第 9 条第 4 号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者					
計画期間	平成 2 9 年度 ~ 平成 3 3 年度					
排出状況及び目標	温室効果ガスの	目標設定の方法	基準年度の実績① ( 2 8 ) 年度	前年度の実績 ( ) 年度	目標年度② ( 3 3 ) 年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量		12,720 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	17,931 t-CO <sub>2</sub>	+40.9 %
	原単位の排出量		108.82 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	107.73 t-CO <sub>2</sub>	-1.0 %
原単位の考え方	焼酎のエネルギー換算生産数量 1,000石あたりの排出量					
目標達成のための基本方針	平成33年度までに基準年比(平成28年度)で原単位1%の排出量を削減する。					
目標達成のための推進体制	エネルギー管理統括者を事業者全体のリーダーとし、各事業所においては、省エネ推進責任者を選任し、省エネ委員会を中心にエネルギー使用の合理化を図る。					
目標達成のための措置の内容	生産部門を主として、需要電力の平滑化、電力量の削減及び蒸気(ガス)使用量の削減を目的とした年間目標を策定し、全社的なエネルギー使用量の低減を図る。					
特記事項	平成33年度のエネルギー換算生産数量は平成28年度に対し、約40%増を見込んでいる。そのため温室効果ガスの総排出量は増加するが、原単位が削減できるよう効率化を図る。					

備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。

2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。